

土木学会斜面工学研究小委員会第1回事例研究WG(拡大WG)
議事要旨(案)

日時：平成18年6月29日(木)17:30-18:30

場所：義山荘(高松市内)

参加者：10名

(委員)後藤聡、稲垣秀輝、上野将司、太田英将、大野博之、西山賢一、鈴木素之、長谷川修一
(委員外)小西純一(東京ソイルリサーチ)、田村(四電技術コンサルタント)

議題：

1. 事例研究WG現地検討会の概要説明(香川大学、長谷川修一)

長谷川委員より6月30日に実施する事例研究WG現地検討会の概要説明があった。

2. 話題提供：法面工の劣化を生じた酸性土の工学的性質とその改良(山口大学、鈴木素之)

鈴木委員より、法面工の劣化を生じた酸性土の工学的性質とその改良について話題提供があった。

3. 話題提供：土の膨潤と地盤災害(小西純一、東京ソイルリサーチ)

東京ソイルリサーチの小西純一氏から、土の膨潤と地盤災害に関する話題提供があった。

4. 事例研究WGの活動計画

事例研究WGの今後の活動については、長谷川主査と鈴木委員が協議して計画し、委員会と調整して、実施することとなった。

以上(文責、長谷川)

【事例研究 WG 現地検討会】

「平成 16 年台風 23 号による香川県内の土砂災害と対策工」概要報告

土木学会地盤工学委員会斜面工学研究小委員会 事例研究 WG

1. 日時：平成 18 年 6 月 30 日（金）8：30 - 16：00

2. 参加者：15 名

（委員）後藤聡、稲垣秀輝、上野将司、太田英将、大野博之、西山賢一、長谷川修一

（委員外）田村栄治（四電技術コンサルタント）、富永哲也（松本測量設計）、野々村敦子（香川大学）、香川大学学生 3 名、徳島大学学生 2 名

3. 見学内容：

（1）STOP 1（高松市峰山）：

栗林山荘正面斜面（安山岩）の表層崩壊対策工について、四国森林管理局香川森林管理事務所から説明を受けた後、現地調査を行い、意見交換を行った。

（2）STOP 2（まんのう町長尾）：

城山南斜面（変成砂岩）の斜面崩壊・土石流と対策工について、四国森林管理局香川森林管理事務所から説明を受けた後、現地調査を行い、意見交換を行った。

（3）STOP 3（高松市三谷町）：

日山北斜面において凝灰岩とデイサイト（キャップロック）との境界から発生した岩盤すべり・崩壊と対策工（香川県環境森林部みどり整備課施工）を調査し、意見交換を行った。

（4）STOP 4（さぬき市寒川町門入）：

門入ダム上流（花崗岩）における大規模土石流による被害状況と砂防ダム工事について、香川県長尾土木事務所から説明を受けた後、現地調査を行い、意見交換を行った。

（5）STOP 5（さぬき市長尾町西）：

台風 23 号による法面の一部が崩壊した香川県天然記念物の長尾衝上断層露頭の修復と今後の法面保護対策について意見交換を行った。

4. 案内：長谷川修一（香川大学工学部安全システム建設工学科）

5. 協力機関：

（1）四国森林管理局香川森林管理事務所（現場説明）：柳生正美 上席調整官、宮本政澄 調整官、戸島勝文 主幹

（2）香川県長尾土木事務所砂防課（現場説明）：福家敏雄 課長、鈴木啓介 主任技師、角谷正彦 主任技師

（3）香川県環境森林部みどり整備課（資料提供）

以上



STOP 1 (高松市峰山) 崩壊対策後



STOP 2 (満濃町長尾): 白山南斜面全景



STOP 2 (満濃町長尾): 土石流対策後の状況。



STOP 3 (高松市三谷町): 崩壊対策後の状況。



STOP 4 (さぬき市寒川町): 土石流災害説明。



STOP 4 土石流災害の溪流を上流まで歩く。



STOP 5 (さぬき市長尾町): 長尾断層の保全検討。昼食のさぬきうどん(大変美味しかった)



「土砂災害から身を守る」講習会の報告
巨大化する台風、来るべき南海地震に対する斜面防災 -

事例研究 WG 長 長谷川修一（香川大学工学部）

土砂災害から身を守る講習会は、下記のように 140 人の受講者(会費納入)、当日聴講のみ数名、講師・委員 10 名、四国支部関係者 7 名、計約 160 人の参加者で、無事開催することができました。

これは、矢田部先生をはじめ講師の先生方、後藤先生を始め斜面工学研究小委員会の委員の皆様、そして林様をはじめ四国支部の関係者皆様のおかげです。企画、準備から会場の運営などに対する献身的なご協力に、心からお礼申し上げます。

記

1. 日時：平成 18 年 6 月 29 日（木）13：30 - 16：50
2. 場所：サンポートホール高松 6 1 会議室（JR 高松駅前高松シンボルタワー・ホール 6 階）
3. 主催：土木学会四国支部四国地域緊急災害調査委員会
土木学会地盤工学委員会斜面工学研究小委員会
4. 後援：地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会、日本応用地質学会中国四国支部
5. プログラム：
 - 13：30 - 13：35 開会挨拶
土木学会四国支部四国地域緊急災害調査委員会 委員長 長谷川修一
 - 13：35 - 14：15 土砂災害を減らすためにどうすればいいのか
愛媛大学大学院理工学研究科 教授 矢田部龍一
 - 13：15 - 14：55 降雨や地震に弱い斜面の特徴と日頃の備え
山口大学大学院 助手 鈴木素之
 - 15：10 - 15：40 あなたの宅地は大丈夫か
- 地震による谷埋め盛土造成地被害事例と安全性調査方法 -
(有)太田ジオリサーチ 代表取締役 太田英将
 - 15：40 - 16：10 土砂災害ハザードマップと土砂災害警戒避難基準雨量
応用地質(株) 四国支社 谷川正志
 - 16：10 - 16：40 知っておきたい斜面のはなし - 斜面防災と環境の共生 -
環境地質(株) 代表取締役 稲垣秀輝
 - 16：40 - 16：50 閉会挨拶
土木学会地盤工学委員会斜面工学研究小委員会 委員長 後藤聡
6. 受講者：140 名（行政 18 名、消防団 22 名、公団・財団 10 名、大学 2 名、民間企業 88 名）
7. 土木学会継続教育（CPD）プログラムに認定認定番号：JSCE06—275、単位数：3.0 単位）
以上



広報・普及WG 「斜面と暮らす市民フォーラム 第一回準備会」 議事録

日時 : 平成 18 年 6 月 2 日 (金) 19 : 00 ~ 20 : 45

場所 : 神奈川県県民活動サポートセンター

出席者 : 土木学会 吉田 洋子 広報・普及WG 長、後藤 聡、稲垣 秀輝、中野 裕司
横浜市旭土木事務所 中林 博志
横浜プランナーズネットワーク 橋本 忠美
宅地開発研究所 駒林 秀明 以上 7 名

内容 :

1. 自己紹介

斜面にまつわる話を皆で話題提供した。

2. コンセプト

たたき台として作成した物の内容でよい。(1)

1. コンセプト

「知っておきたい斜面のはなし Q&A 斜面と暮らす」の本を用いて多面的な斜面の問題や課題について市民に理解してもらおう。

考え方としては、斜面の安全問題とともに緑の保全や景観などのバランスを検討していく。斜面のあり方について問題提起。

また、斜面を整備する方法だけでなく市民が斜面について知り、斜面と上手に付き合い、本当に危険な時は皆で避難する。そんなことについても話題提供し学ぶ。

留意点

市民向けなので、あまり難しい内容にはしない。

危険について、おどし過ぎて市民がどう対応しているのか、わからなくなるような不安が募るようなフォーラムにはしたくない。

(1): たたき台として作成したコンセプト文より抜粋

3. 日時

平成 18 年 9 月 30 日 (土曜日) (あとで決定)

13 : 30 ~ 16 : 30 (会場は 12 : 00 ~ 17 : 00 使用可能)

4. 場所

関東学院大学 昌子先生に大学の会議室を借用できないか要請、以下のように決定。

KGU 関内メディアセンター (横浜メディア・ビジネスセンター 8 階)

担当 : 長島 京子さん

費用 : 無料 (土木学会の名前なら)

人数 : 120 名 (テーブル使用の場合) から 140 名 (120 名の状態より更に椅子使用により入場定員の増員可能)

住所 : 〒231 - 0011 横浜市中区太田町 2 - 23

連絡 : 045 - 650 - 1131

交通 : みなとみらい線「馬車道駅」下車、徒歩約 3 分

J R ・横浜市営地下鉄「関内駅」下車、徒歩約 5 分

備考 : 当日はラウンジおよび発表者控え室あり。

(パワーポイントやパソコンも用意できる)



(KGU 関内メディアセンターHP より)

5. 市民フォーラムの内容

パネルディスカッションの形式にする。

6. 参加費

参加費については以下ようになった。

一般：1,500 円

学生：1,100 円

なお、100 名集まったとして

100 名 × 400 円 = 40,000 円

が講師の交通費などで使える。土木学会の方でも講師謝礼については、あたって下さるとのこと。

7. 当日の資料等について

資料として、「知っておきたい斜面のはなし Q&A - 斜面と暮らす -」の本とパワーポイント資料を配布。

8. 後援について

主催：土木学会地盤工学委員会斜面工学委員会

後援候補：

- ・横浜市 まちづくり調整局
環境創造局 (後援両局とも OK が後日でた)
- ・横浜プランナーズネットワーク
- ・横浜事務所協会 (NPO まちづくりセンター理事長小渡さんより米沢会長に話してくれる)
- ・防災研究会
- ・その他

9. 呼びかける市民および専門家について

市民：

- ・はま管ネットワーク・・・関東学院大学建築設備 田辺邦男先生より
- ・川崎管理組合ネットワーク・・・ 同上
- ・神奈川管理組合ネットワーク・・・神奈川すまいまちづくり協会 渡辺さん
- ・いえ・みち・まち対象地区の住民・・・横浜市地域整備課 八幡さんより
- ・さかえ住宅環境フォーラム・・・竹谷会長より
- ・横浜市建築協定連絡協議会・・・横浜市より
- ・地区計画地区の住民・・・横浜市より
- ・まち普請のメンバー・・・横浜市地域整備支援課より
- ・青葉まちづくりフォーラム・・・鈴木さんより
- ・その他

専門家：

- ・横浜プランナーズネットワーク
- ・女性建築技術者の会
- ・横浜事務所協会防災検討のメンバーおよびまちづくりセンター
- ・横浜市建築士会
- ・神奈川すまいまちづくり協会
- ・その他

記入：吉田、駒林
以上

斜面と暮らす市民フォーラム

平成 18 年 9 月 30 日 (土)

総合司会 後藤

13:30 1 .あいさつ (10 分)

- ・土木学会 あいさつ(後藤)
- ・参加者の紹介(吉田)

13:40 2 .パネルディスカッション (90 分)

コーディネーター(2.3 とも) 吉田

各テーマから話題提供(60分) ハイライトを使って

1. 総合科学としての斜面工学(10 分)(稲垣)
2. 防災からみた斜面(10 分)(上野・稲垣)
3. 維持管理からみた斜面(10 分)(釜井・太田)
4. 環境生態学からみた斜面(10 分)(佐々木・中野)
5. 景観計画からみた斜面(10 分)(中野)
6. 中越地震での山古志里山事例(10 分)(後藤)

パネルディスカッション(30 分)

総合科学としての斜面について

15:10 休憩 (10 分)

15:20 3 .質疑応答・意見交換 (60 分)

話題提供(30 分)

1. 斜面と安全 ワークショップの紹介(10 分 金井)
2. 宅地の安全、新制度の紹介(10 分 釜井・太田)
3. 横浜での多自然型水辺保全の市民活動(10 分 橋本)

会場とのやりとり(30 分)

- ・質疑応答
- ・意見交換(ファシリテーショングラフィック)

16:20 4 .あいさつ (10 分)

- ・あいさつ(中林)
- ・出前講座の紹介(吉田)

16:30 終了

斜面と暮らす市民フォーラム

会議での修正案

平成 18 年 9 月 30 日 (土)
総合司会 吉田

13 : 30 1 . あいさつ (アンケート配布) (10 分)

- ・土木学会 あいさつ(後藤)
- ・参加者の紹介(吉田)

13 : 40 2 . パネルディスカッション (斜面とくらす) 70 分

コーディネーター 後藤

各テーマから話題提供(60分) パワーポイントを使って

1. 総合科学としての斜面工学(10分)(稲垣)
2. 防災からみた斜面(10分)(上野)
3. 維持管理からみた斜面(10分)(太田)
4. 環境生態学からみた斜面(10分)(佐々木寧)
5. 景観計画からみた斜面(10分)(中野)
6. 中越地震での山古志里山事例(10分)(大野)

パネルディスカッション(10分)

総合科学としての斜面について

14:50 休 憩 (アンケート回収)

15 : 00 3 . パネルディスカッション (市民と斜面) 80 分

コーディネーター 吉田

話題提供(30分)

1. 斜面と安全 ワークショップの紹介(10分 金井)
2. 宅地の安全、新制度の紹介(10分 釜井)
3. 横浜での多自然型水辺保全の市民活動(10分 橋本)

会場とのやりとり(50分)

- ・質疑応答
- ・意見交換(ファシリテーション)

16 : 20 4 . あいさつ (10 分)

- ・あいさつ(中林)
- ・出前講座の紹介(吉田)

16 : 30 終 了

斜面と暮らす市民フォーラム

■ 日時 ■

平成18年9月30日（土）13：30～16：30

■ 場所 ■

KGU関内メディアセンター
 （横浜メディア・ビジネスセンター8階）
 TEL：045-650-1131

みなとみらい線「馬車道駅」下車、徒歩3分
 JR・市営地下鉄「関内駅」下車、徒歩5分

■ プログラム ■（予定）

1 あいさつ 13：30～13：40

土木学会 あいさつ（後藤 聡）
 パネリストの紹介

2 パネルディスカッション 13：40～15：10

-各テーマからの話題提供-

- 総合科学としての斜面工学
- 防災からみた斜面
- 維持管理からみた斜面
- 環境生態学からみた斜面
- 景観計画からみた斜面
- 中越地震での山古志里山事例

-パネルディスカッション-

- 総合科学としての斜面について

■ 休憩（10分）

3 質疑応答・意見交換 15：20～16：20

-話題提供-

- 斜面と安全 ワークショップの紹介
- 宅地と安全 新制度の紹介
- 横浜での他自然型水辺保全の市民活動

-会場とやりとり-

- 質疑応答
- 意見交換（ファシリテーショングラフィック）

4 あいさつ 16：20～16：30

-あいさつ-

-出前講座の紹介-

■ 終了（16：30）

■ 主催と後援

主催：土木学会地盤工学委員会斜面工学委員会
 後援：横浜市 まちづくり調整局（予定）
 環境創造局（予定）
 横浜プランナーズネットワーク（予定）
 横浜事務所協会（予定）
 その他多数



知っておきたい

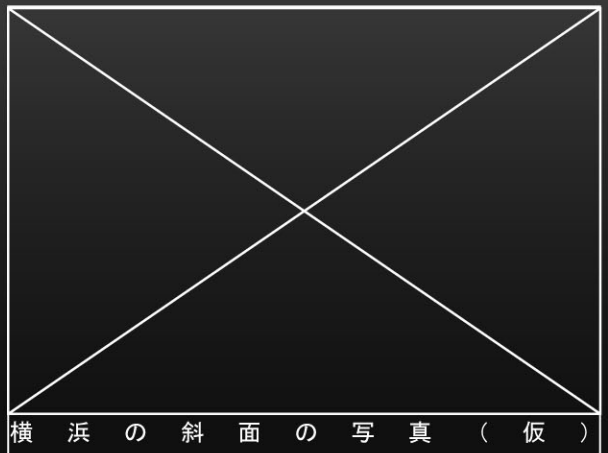
斜面のはなし

斜面と暮らす

Q & A

土木学会

知っておきたい斜面のQ&A 土木学会出版



お問い合わせ先